

わかもと製薬及び明治乳業、東海大学共同研究 乳酸菌 LG21 に関する特許取得のお知らせ

明治乳業株式会社保有の乳酸菌LG21(「Lactbacillus gasseri OLL 2716 株」)が、Helicobacter pylori(以下ピロリ菌)の除菌性及び感染防御性について特許を取得しましたのでお知らせいたします。(特許番号第 3046303 号)

ピロリ菌は1979年にオーストラリアのウォーレン博士、マーシャル博士らによって胃内に棲息する細菌として発見されて以来、慢性胃炎、胃潰瘍および十二指腸潰瘍との関係につき、注目されるようになりました。1994年には、世界保健機関(WHO)が、ピロリ菌を「確実な発ガン因子」であると発表しており、世界的にも注目を集めている病原菌です。日本では国民の約半数の6000万人、特に40歳以上では約70%が感染しているとも言われております。現在、ピロリ菌の除菌療法としては、抗生物質を用いた治療が一般的であります。永い期間、健康保険の適用外であり、簡易な除菌手段が希求されておりました。

そうした中で、厚生省は、この11月1日より、胃潰瘍、または十二指腸潰瘍の診断が確定し、ピロリ菌感染が疑われる患者に限り、感染の診断と、薬剤による除菌治療を健康保険適用としました。今後益々、ピロリ菌が胃潰瘍や十二指腸潰瘍などの原因の一つとしてクローズアップされていくものと思われまます。

一方、明治乳業株式会社及び、東海大学医学部、わかもと製薬株式会社の3者は、予防という観点、安全性、経口摂取等の面から乳酸菌に着目し、1997年に共同研究を開始いたしました。3者は、乳酸菌を用いるピロリ菌の除菌、感染防御システムを新たに開発すべく研究を進め、結果として、乳酸菌LG21の発見に至りました。その後、●胃酸耐性、●低pH条件下での生育性、●胃由来培養細胞に対する付着性、●ピロリ菌と混合培養した際の増殖阻害性、などの研究データを基に特許出願いたしました。

明治乳業とわかもと製薬の2者は、平成11年6月24日に日本国特許庁へ特許出願し、本年3月17日に既に特許登録されております。その後、同5月29日に特許公報への掲載を経て、11月29日をもって異議申立期間が終了いたしました。特許内容は次の通りです。

2000年11月30日

記

発明の名称 : 「Helicobacter pylori 除菌性飲食品」

特許請求の範囲 : 「Helicobacter pylori 除菌性の高い Lactbacillus gasseri に属する乳酸菌、該乳酸菌含有物、その処理物の少なくともひとつを含有してなること、を特徴とする Helicobacter pylori の除菌性及び／又は感染防御性飲食品」

今回の特許取得により、ピロリ菌除菌性及び感染防御性を有する「Lactbacillus gasseri」に属する乳酸菌を使用した飲食品の製造、販売は明治乳業とわかもと製薬の2社の独占となります。